

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 「税理士の社会的役割と活躍領域、税理士法改正」
授業特別協力者名 : 鴨田 和恵 氏
実施日時 : 2023年10月17日(火) 2時限
担当教員名 : 阿部 雪子
授業科目名 : 税法
履修者数 : 203名

実施結果

「税法」の講義では、長年税理士業を営んでおり、東京税理士会副会長である鴨田和恵税理士より講義が行われた。まず、税理士の使命・倫理観について説明があった後、税理士は、企業・個人といった納税者のために税務代理、税務書類作成、税務相談等、税務の専門家として納税者のサポートを行うことが基本的業務であることについて説明がなされた。

平成13年6月の税理士法改正では、税理士が裁判所の許可を要せずに、弁護士である訴訟代理人とともに税務訴訟において納税者の正当な権利や利益の救済を援助することが可能となる制度として税理士の補佐人制度が創設されたことについて解説があった。その他にも、国税審判官や監査委員、民事・家事調停員などとして行政や司法支援の役割も担っていることなどにより税理士の活躍領域が広がっていることについて詳細に説明がなされた。また、近時の重要な論点として、納税義務者への利便性の向上を目的として税理士業務のICT化の推進が図られていること、具体的には、電子申告・納税の推進などの行政手続、調査対応のペーパーレス化による迅速化・効率化が加速していることのほか、業務環境のデジタル化、電子申告など電子化の推進が図られていることなどについて解説があった。最後に、税理士と公認会計士の業務の相違について説明があった後、最近の消費税法改正の重要なトピックとしてインボイス制度の趣旨や課題等について解説がなされた。

講義後半では、現在の税理士試験の難易度や税理士事務所の職業環境、女性税理士の活躍等について受講生から質問があり、鴨田税理士より受講生一人一人に実務経験を踏まえた回答がなされるなど大変有意義な講義が展開された。将来の進路を考える上で税理士や公認会計士への専門職業人の関心が高まり受講生の満足度が高い授業が展開されたように思われる。